



総合学科通信 <第5号>



発行 総合学科推進部 令和3年10月8日



10月です。ずいぶん秋めいて来ました。何をするにもよし。何事も落ち着いて取り組めるよい季節になりましたね。実りの秋になりますように！！



9月7日(火) フィールドワーク報告会を実施しました。今年度もさまざまな制約のあるなか、夏季休業中にフィールドワークを実施しました。生徒たちはその内容をポスターにまとめて、報告会に臨みました。緊張もあったとはいえ、一人ひとりと、約5分間全力で成果について発表ができたように思います。また、他の人のポスターや発表を見聞きして、自分の研究に活かせる点が発見できたのではないのでしょうか。

9月28日(火) 春に続いて、神戸大学の石川教授をお招きして、中間報告会を実施しました。

5限は、代表生徒3名がそれぞれの研究について報告しました。その後、石川教授からミニ講演と3人に対するフィードバックを頂きました。ミニ講演では、以前の講演をふまえて「良い研究とは」を再確認していき、3人の良い点と足りない点をご教授頂きました。また論文にしていく上で、再度「タイトル(テーマ)」や研究内容、結論が一貫性を持つようにしていく必要があるとご助言を頂きました。

6限は各教室を石川教授が回り、何人かの質問に答えていただきました。限られた時間ではありましたが、何かヒントを掴んだ生徒もいたように思います。

これからいよいよ論文執筆に向かっていきます。修正や追加など、まだまだ頭を悩ますこともあると思いますが、「良い論文」が完成しそうな予感がします！



<生徒感想【抜粋・編集】>

- ・ 実験の条件の見直し (ポイントの絞り込み)
- ・ 追加のインタビューをすることで、より具体性が増すのではないか
- ・ 4C+1Eに基づいて評価をすると、足りない点に気が付いた
- ・ 3人の発表を聞いていると、自分のペースが遅かった
- ・ 動機と調査を一致させる必要性がある
- ・ いただいたアドバイスを実際に行動に移してみようと思った
- ・ 「ジェンダーフリー」と「ジェンダーフェア」のお話が、自分の研究にも役立つように思った
- ・ 自分が「何を明確にしたいか」を明確にする必要がある。
- ・ 同じテーマでも、「言葉選び」によってすごく変化することがわかった
- ・ テーマが人を惹きつけることができることを実感した
- ・ 動機をしっかりとふまえたフィールドワークを実践しようと思った
- ・ 自分だけが問題視をしているのではないか、そうすると他の人に訴える力が弱くなるのではないか



半期のゼミ受講の皆さんは、前期のゼミが終わりました。アンケートを通して、ゼミで身についた力を考えてもらいました。次はその力を後期のゼミで、さらに進路先や社会でどう生かしていくかを考えましょう。また、各ゼミで得た知識を今後も深めることが、K-Advanceでの学びの効果を最大化することに繋がります。どうか学び続けてください。



<倉ゼミ>



<国際ゼミ>



「総合学科発表会のスタッフを希望したいのですが、

どうしたらいいですか？」

こんな風に聞いてきてくれる生徒がちらほら出てきました。ほんと、嬉しい限りです！
今年度も昨年度と同様、十分に感染対策を講じて実施する計画を立てています。

“総合学科発表会”は、総合学科の学びの成果を発表することを通して、生徒が互いに刺激し合い、成長の実感を共有することで、次年度に向けて目標を設定し、さらなるステップアップを図るための機会としています。

そうそう、スタッフについてですが、今月末から募集します！発表会が円滑に進行できるよう、様々な場面で活躍してもらいます。具体的な内容を知りたい人は、総合学科推進部までお気軽にどうぞ！締め切りは、11月末としていますが、応募者多数の場合は期日を待たず締め切る場合もありますので、ご注意ください！ また、発表団体も同様に募集します。

今しばらく、詳細をお待ちください！

